



SIDDHARTHA'S INTENT

『ブーミスパルシャ』

地に触れる

ブッダと呼ばれるお方と彼の教えにしたがい、それを称賛するみなさん、そして、ただブッダにいくらかの好奇心を抱いているみなさんを歓迎します。

ブッダと彼の教えを思い出すことを目的に開催された、このオンライン上の集まりによろこそ。

私たち人間には、良い面も悪い面もあります。私たちは知的と見なされ、多くのことを成し遂げてきました——ときとして過剰なほどに！しかし、私たちはまた、自分たちの生息地であり、子供たちに受け継がれていくものを破壊し続けています。

このように良い面と悪い面があり逆説的な私たちの人間性は、一見私たちを幸せにしてくれるものと、実際に恩恵となるものの中で、私たちが混乱してしまうために生じることが多いように見受けられます。

暗闇の中の閃光のようにほんの一瞬に思えるかもしれませんが、私たちは皆、親切な考えや良い考えを持っています。誰かを温かく迎えたり、握手をしたり、食事を用意してテーブルに招いたりするとき、あるいは誰かに笑顔を向けるだけでも、私たちは内から生じる、思いやりのある、寛容で、愛に満ちた本質を現しています。

確かに、こういった些細な行動は、ときとして狭く、近視眼的で、排他的なかたちをとり、家族や友人、自国の人々や肌の色が同じ人々にのみ向けられるかもしれません。しかし、私たちの内に善良さがあることに疑いの余地はありません。そして、私たちはそれをより遠くへ、はるかに遠くへ広げる可能性を持っています。



SIDDHARTHA'S INTENT

す。また、心をさらに開き、視野を広げ、包摂的になる可能性も持っています。他人のためでなければ、少なくとも自分のためにです。

メディアは悪いニュースにばかり注目しますが、世界はただ攻撃的で、自己中心的で、非道で、愚かで、注意散漫なわけではありません。実際には、優しく、親切で、慈悲に満ち、思慮深く、献身的な行動のほうがはるかに多いのです。

いまこの瞬間に、心の優しさから何か良いことをしている人々が何百万人とまでは言わないまでも、何十万人といることでしょう。命を救ったり、見知らぬ人に食べ物をあげたり、障がいを持つ人や高齢者にバスの席を譲ったり、大好きなカプチーノを我慢して絶滅危惧種を救う取り組みに寄付したりといったように。

他者の痛みに対してありきたりの共感を一瞬抱くことは、大したことではないように思えるかもしれませんが、しかし、私たちが気づいていないのは、実はそれこそが世界の原動力であるということです。私たちの本質の核心に基本的な優しさと共感がなければ、私たちは一緒に暮らすことすらできません。

数々の政治家や経営者を含む多くの人々が、地球やそこに住む者たちの幸福など知ったものかと言わんばかりに行動していることは確かです。しかし、ここ数カ月にもわたって、勇敢にも自らの命を危険にさらしている看護師や医師たちがいることもまた、私たちは知っているはずで

善良さは存在します。優しさは存在します。そして、善くあること、優しくあることは弱さではありません。私たちが目の当たりにしてきたように、真実はその逆なのです！

ブッダは、私たちが現時点でどのように感じ、行動していようとも、善良さや優しさを学んで習慣にすることはできると説き、それを証明しました。この地球には、善良さや優しさの素晴らしい数々のお手本が過去にも現在にもありますし、



SIDDHARTHA'S INTENT

未来にもあり続けるであろうと私は確信しています。

私たちは社会的な生き物ですので、そういった過去と現在の行いや他者からの深い影響を受けます。私たちはそれらの影響にしがみつき、それによって価値観や信念が形作られます。これはよいことです。なぜなら、いま何をするかによって、未来に影響を与えることができるからです。

これこそが、私たちがここでしようとしていることです。つまり、世界の行方を実際に変えることのできる何かを、今一度思い出そうとしているのです。

もちろん、科学者や医学研究者、経営者、政治的指導者、そして社会運動家たちは、問題に対する解決策を模索し続けるでしょう。コロナウイルスに予防効果がある安全なワクチンといったように、彼らが良い解決策を見つけることを私たちは祈らなければなりませんし、これまでの多くの場合、彼らはそれを成し遂げています。

しかし、だからといって、重要な仕事や解決策はすべて専門家任せにして、私たちのような普通の人間は何もせずただ座っていればよいというわけではありません。実際、私たちはそれほど普通ではありませんし、より優れているとまではいえないにせよ、同程度に手助けをする能力は備えています。それは、私たちには優しく開いた心があり、世界に善良さ、平和、そして調和をもたらしたいという深い願望があるからに他なりません。

技術的に見ていかに熟練していても権力があろうとも、専門家やリーダー、経営者たちがこのような心からの願いを基本的な動機としなければ、彼らは利益以上に害をもたらします。過去の数えきれない偉大な師たちの智慧や巧みな方便に導かれる私たちが極めて幸運なのは、このためです。彼らは、本当に多くの生き物たちに真の恩恵をもたらす類いまれな解決策を示し、証明してきました。



SIDDHARTHA'S INTENT

確かに、人類は抗生物質を発見し、月に降り立ちました。しかし、こういった驚異的なことを成し遂げた一方で、いざ、あらゆる方角から危険が迫ってくれば、その基本的な解決策は、手を洗うという非常にシンプルなものに行き着くということもまた、私たちは学びました。

ですが、それよりもさらにシンプルで、基本的で、はるかに強力な解決策があります。それは、釈迦牟尼仏が 2600 年前に説き、現在に至るまで、切れ目のない系譜によって受け継がれてきたものです。それは単に、内側に目を向け、瞬間瞬間に注意を払い、私たちには優しさや慈悲、そして完全に目覚めた心の状態がもとから備わっていることを、思い出すことです。

それが、釈迦牟尼仏からの素晴らしい贈り物であり、遺産なのです。実際、ブツダから学んだ目覚めた状態や愛、そして慈悲を——政治的、社会的、経済的、そして技術的にも——実践に移した偉大なリーダーたちが存在したことは、アショーカ王の時代にまで遡って見ることができます。これは実際に起きたことです。私たちにもできます。

したがって、この贈り物と、それが重大な局面にある世界にもたらし得るとてもない可能性を、そして、智慧、愛、慈悲、完全に開かれた状態を体現した釈迦牟尼仏の名を唱えるという試みに着手する私たちのようなグループがいるということを、称賛し、育み、広く知らせなければなりません。これは、世界がいま必要としていることです。

ですから、ブツダの名を唱えましょう。彼の名を歌いましょう。彼の名を踊りましょう。そして、彼の名を褒め称えましょう。

私たちは他者の影響に動かされる社会的な生き物ですので、私たちが憧れを抱き、世界を助けるための模範や手本が必要です。過去の偉大な賢人たちを思い出し、呼び起こせば、私たちは彼らの手本に身を寄せ、それをまねる自信を得るこ



SIDDHARTHA'S INTENT

とができます。

私たち人間は目標を設定することを好みます。したがって、1回の真言と100万回の真言の間に違いは一切ありませんが、吉祥な初転法輪の日である7月24日に開始し、2020年の終わりまでに釈迦牟尼の真言を1億回唱えることを目指しましょう。

ブツダの名はどのように唱えてもかまいません。あなたがこのために時間とエネルギーを捧げているという事実だけでも、尊重と祝福に値します。ですから、散歩をしたり、テレビを見たり、ウィンドウショッピングをしようとして、山の中の静かなお寺で座蒲に座っていようと、あなたが唱えた1回1回の真言を、私たちは大切にし、尊びます。

もし助けになるのであれば、ここで提供している成就法の中の観想の箇所を唱えてください。ほかのいかなる伝統や系譜の成就法を使っていただいてもかまいません。また、成就法や観想を用いずに唱え、ブツダの優しさ、愛、慈悲、目覚めた状態をただ思い出すのでもよいです。あなたに合った方法でかまいません。

また、歌うように真言を唱えたいという場合のための曲もいくつかご用意しました。真言のメロディーをご自分で作られた場合には、ぜひ私たちに送ってください。みなさんに唯一お願いしたいのは、可能なときにはいつでも、私たちがこれを地球のため、人類のため、動物たちのため、そして生きとし生けるもののためにやっているのであると思い出すことです。

私たちが現在の苦しみを乗り越え、前進し、いまより快適で元気になったとしても、無関心になってしまっははいけません。そうではなく、私たちは本当に満ち足りた感覚を得ると同時に、地球上の真の平和と調和のために唱え続けるのです。そうすることで、そこに住む者たちが、一時の幸福を味わうだけでなく、消えることのない真の恩恵をもたらす状態に目覚めることができるように。